

総務部

総務課	防災契約情報	災害約報	務対検政	策査策	課課課
-----	--------	------	------	-----	-----

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部 八郷総合支所		総務課 支所総務課	
事業名	133 区長・協力員関係経費			予算	会計	01 一般会計	
根拠法令	石岡市区長及び協力員条例				款	02 総務費	
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）			項	01 総務管理費	
	施策	08 協働によるまちづくりの推進			目	01 一般管理費	
				顧客（誰を）	区長・協力員		
				意図（どのように）	区長・協力員の職務を遂行し、まちづくりに積極的に参加します。		
事業の概要				区や自治会の代表として、行政と住民の連携を図るため、パイプ役となる区長や協力員を市が委嘱し、報酬を支払っています。区長を構成員とした地域コミュニティーの団体である、石岡市区長会へ補助金を交付しています。 地区の自主的な活動を促すため、区運営補助金を交付しています。			
事業全体としての課題				19年度から新区長協力員制度として活動しています。なお、任意団体であった石岡市自治会連合会と石岡市八郷地区区長連合会については、19年度からひとつの団体として統一し、23年度からは名称を石岡市区長会と改めました。また、区運営補助金は、区の役割等に関する沿革を踏まえながら、新たな補助形態の検討が必要となっています。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	自治組織加入率		区・自治会等への加入世帯／全世帯数		%	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	85	85			
	実績値	75					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	48,242	48,571	48,522	48,690	49,097	
	実績額計	48,242	48,571	48,522	48,690	49,097	
	予算額計	49,146	49,158	49,249	49,427	49,097	
執行率	98.16%	98.81%	98.52%	98.51%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	石岡市区運営補助金		事業報告により把握する。			地区	149
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
地域の自主的な活動を担う区長協力員の役割について検証し、制度の改善に継続して取り組んでいきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名		240 固定資産評価審査委員会経費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		地方税法 石岡市固定資産評価審査委員会条例			款	02 総務費	
					項	02 徴税費	
					目	01 徴税総務費	
				主な内訳		報酬 旅費 負担金補助及び交付金	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	納税者、審査申出者		
	施策	01 積極的な情報発信と対話の充実		意図（どのように）	申し出のあった固定資産評価額が適正であるかを審査します。		
事業の概要		不服の内容について、審査決定することにより、適正かつ公平な価格の決定について、適正な審査を図ります。					
事業全体としての課題		審査申出の内容が年々複雑化、高度化しているため、委員及び書記においても固定資産の評価に関する高度な専門知識が必要となってきている。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	固定資産税価格に係る行政事件訴訟等件数		委員会の決定が、適正かつ公平な決定を求められているため、固定資産税価格に係る行政事件訴訟等件数を指標等とした。		件	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	134	47	75	134	220	
	実績額計	134	47	75	134	220	
	予算額計	241	220	220	220	220	
執行率		55.6%	21.36%	34.09%	60.91%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	審査申出件数		年度内に審査申出があった件数			件	1
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
法令に基づき、審査を適正に行っていきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	242 庶務事務費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	地方自治法				項	01 総務管理費	
					目	01 一般管理費	
				主な内訳		旅費 需用費 委託料	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市議会議員 市職員		
	施策	01 積極的な情報発信と対話の充実		意図（どのように）	事務に関する説明書の作成と市議会への提出のほか、弁護士と法律顧問契約を締結しています。		
事業の概要				地方自治法第122条に基づき「事務に関する説明書」を市議会（第1回定例会）に提出 法律顧問弁護士を設置し、市の行政事務全般に係る法的トラブル回避のための相談や法的な疑義の解釈及び 解決方法などの助言を得て、迅速かつ適切な問題解決を行い、市民に信頼される行政運営に当たります。			
事業全体としての課題				行政事務全般に係る事務の説明責任と適法な事務処理の確保			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	相談をした事案で訴訟に至った件数		事前に相談をした案件については、訴訟に至らずに解決できることが望ましいと考え、指標等に設定した。		件	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
		実績値	0	0			
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	1	
	一般財源	887	1,500	1,352	756	773	
	実績額計	887	1,500	1,352	756	774	
	予算額計	921	1,530	1,369	836	774	
執行率		96.31%	98.04%	98.76%	90.43%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	事務に関する説明書の発行		地方自治法に基づき、市議会へ提出する説明書			回	1
	弁護士への相談件数		相談方法は、弁護士事務所での対面、文書等で相談している。			回	26
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
事務に関する説明書を引き続き作成し、周知を図っていきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	351 事務管理経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	石岡市情報公開条例 石岡市個人情報保護条例				項	01 総務管理費	
					目	01 一般管理費	
				主な内訳	報酬 旅費 需用費 役務費		
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市民等		
	施策	01 積極的な情報発信と対話の充実		意図（どのように）	市民の市政への参加推進及び個人の権利・利益の保護		
事業の概要				行政情報の公開及び個人情報の取扱いに関する基本事項に基づき、市民の市政への参加を推進するとともに、個人の権利・利益を保護します。情報公開審査会及び個人情報保護審査会を開催（諮問）します。			
事業全体としての課題				市が保有する情報や自己情報の取扱いについての関心の高まりに対し適切に対応すること。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	不服申立率		不服申立件数 / (公開+部分公開+非公開)		%	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	2	4	3	10	5	
	一般財源	23	5	4	23	86	
	実績額計	25	9	7	33	91	
	予算額計	102	91	91	91	91	
執行率		24.51%	9.89%	7.69%	36.26%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	情報公開公開件数		情報公開の請求件数			件	21
	個人情報開示件数		個人情報開示の請求件数			件	5
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
法令等に基づき、情報公開等の制度運用を適切に進めていきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				総務部 八郷総合支所		総務課 支所総務課		
事業名		638 文書管理事務費		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		石岡市文書管理規程 公文書等の管理に関する法律			款	02 総務費		
					項	01 総務管理費		
					目	02 文書広報費		
				主な内訳		需用費 委託料 使用料及び賃借料		
体系	政策	07 時代の变化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市民等，市職員			
	施策	01 積極的な情報発信と対話の充実		意図（どのように）	文書の適正管理により事務の効率化を図り，市民への情報提供及び情報公開を推進する。			
事業の概要		ファイリングシステムによる文書の適正管理や庁内LANIによる法令及び市例規情報等を共有化し，職務に役立てる。広報紙等により市民に最新の行政情報を提供する。						
事業全体としての課題		行政運営のために自治体が保有していた行政情報が，住民参加型の行政の広まりとともに，広く一般に提供すべきものとなってきた。公文書等の管理に関する法律が施行され，市町村において保有する文書の適切な管理に関して施策の策定及び実施について努力義務が課せられました。歴史的公文書の管理を推進していくことが求められています。						
成果指標	項目	指標名			指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	例規データ更新回数			最新の行政情報を提供するには迅速な更新が必要であるため例規集のデータ更新回数を指標とした。		回	平成25年度
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	12		12			
	実績値	10						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	15,933	16,247	18,288	15,079	16,571		
	実績額計	15,933	16,247	18,288	15,138	16,571		
	予算額計	18,213	19,149	19,189	15,844	16,571		
執行率		87.48%	84.85%	95.3%	95.54%	100%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	市報等配布委託		効率的に各戸へ広報いしおかを配布するため，各区長及び協力員に届けた回数				回	24
	例規集データ更新回数		年度内における，例規集データの更新をした回数				回	10
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
法令等に基づき，公文書の適切な管理に取り組んでいきます。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	352 職員研修経費			予算	会計	01 一般会計	
根拠法令	地方公務員法				款	02 総務費	
体系	政策	07 時代の变化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）			項	01 総務管理費	
	施策	07 人材育成の強化			目	01 一般管理費	
				顧客（誰を）	市職員		
				意図（どのように）	高い能力、スキルを持ち、これらを最大限に活かして仕事に取り組み職員を育成する。		
事業の概要				職員研修を通して職員の経営感覚を養い、事業の実施・検討にあたっては、自ら変革に取り組み意識づけの取り組みを図ります。人材育成の観点から、職員の能力開発に管理職の果たす役割及び与える影響は非常に大きく、その意識改革の取組みを図ります。			
事業全体としての課題				地方分権が進み、課題を解決し施策を展開する人材を育成する必要があります。また、「市民生活の向上」を目指し、「受けさせられる研修」から「自ら高めるための研修」へと職員の意識を変える工夫をし、研修効果を高める取り組みが課題となっています。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	研修内容習得度		研修復命のアンケートにおいて、研修内容を「理解できた」と回答した職員。		%	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100	100			
	実績値	96.5					
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	47	86	42	113	0	
	一般財源	4,044	3,679	3,683	3,594	5,186	
	実績額計	4,044	3,679	3,683	3,707	5,186	
	予算額計	4,890	5,216	5,571	5,583	5,186	
執行率		82.7%	70.53%	66.11%	66.4%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	階層別研修（1部～3部）		新任から在職5年以上の中級職員で階級等に基づいた基本研修			人	77
	階層別研修（4部～新任部長）		3・4級以上・新任係長・新任課長補佐・新任課長・新任部長級の基本研修（H23年度～自治研修所のみ）			人	58
一般研修		地公法に基づき必要な制度理解、能力向上のための研修			人	1,110	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
職員一人ひとりの能力及びスキルの向上が求められているなか、職員研修事業については、今後も継続が必要ですが、その効果が高めるためにも、「受けさせられる研修」から「自ら高めるための研修」へと職員の意識付けを変えていく取り組みを行います。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				総務部		総務課		
事業名	637 職員福利厚生費			予算	会計	01 一般会計		
					款	02 総務費		
根拠法令	地方公務員法				項	01 総務管理費		
					目	01 一般管理費		
				主な内訳	報償費 委託料			
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市職員			
	施策	07 人材育成の強化		意図（どのように）	職員の心と身体の健康維持を図ることで、公務効率の向上を目指します。			
事業の概要				職員の健康診断や人間ドックにかかる費用の一部負担などを通して、職員の健康管理、福利厚生及び労働安全衛生管理を行います。				
事業全体としての課題				職員の健康診断の実施率が100%に達していません。 職員の業務負担増や職場環境の変化等により、メンタルヘルス不調者が増加してきています。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	職員健康診断状況		毎年休職者等がいることから全職員の受診は困難ですが、病気の予防や早期発見の観点から受診率のアップに努めます。			%	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度				
		目標値	100	100				
	実績値	97.7						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	3,744	3,401	3,818	3,668	4,299		
	実績額計	3,744	3,401	3,818	3,668	4,299		
	予算額計	4,709	4,547	4,420	4,297	4,299		
執行率		79.51%	74.8%	86.38%	85.36%	100%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	職員健康診断受診者		法令の規定により年1回の健診が必要となっている。				人	631
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
職員の健診受診率の100%を目標とする一方で、要精密となった職員や健康指導が必要な職員へのフォロー体制の充実や、メンタルヘルス対策を強化していく必要があると考えます。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	24 選挙管理委員会経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	地方自治法 公職選挙法 検察審査会法 裁判員の参加する刑事裁判に関する法律			項	04 選挙費		
				目	01 選挙管理委員会費		
				主な内訳	報酬 需用費 負担金補助及び交付金		
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	全有権者		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	法令、政令に基づき、市が処理する選挙に関する事務等を管理します。		
事業の概要				関係法令に基づき、選挙管理委員会において議案審議、告示、名簿調整事務等を行い、選挙事務を適正に管理・遂行する。検察審査員候補者及び裁判員の選定事務並びに国民投票制度の投票人名簿調整を行う。			
事業全体としての課題				法令に基づいた適正な事務の執行			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	選挙人名簿登録の異議申出件数		選挙人名簿登録要件にあって、適正に事務手続をしていれば、異議申出件数がないことが望ましい。		件	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	634	4	3	5	4	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	456	436	399	366	471	
	実績額計	1,090	440	402	371	475	
	予算額計	1,198	563	538	490	475	
執行率		90.98%	78.15%	74.72%	75.71%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
選挙人名簿に係る事務を適正に行うため、継続して事業を実施していきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	132 政治倫理審査会経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	石岡市政治倫理条例				項	01 総務管理費	
					目	01 一般管理費	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市長 副市長 教育長 議員		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	政治倫理基準、工事等の契約に関する遵守事項を定め遵守することにより、政治倫理の確立を図る。		
事業の概要				市長、副市長、教育長及び市議会議員の政治倫理基準や工事等の契約に関する遵守事項を定め、政治倫理基準、遵守事項の違反に関して調査するための、政治倫理審査会を設置します。選挙権を有する者200人以上の連署により、市民は条例に違反する疑いのあるときは、市長、議長に調査を請求することができます。			
事業全体としての課題				地方自治法に規定されている兼業禁止についても、憲法上保障された参政権、職業選択の自由を制約するものであることから、その運用は慎重になされるべきであると解されています。地方自治法以上の制約を条例で行うことについては、更に慎重な検討が必要であるとの見方があります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	政治倫理基準の違反件数		任期中の政治倫理基準等の違反件数がないことを指標等として設定した。		回	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
	実績値	0					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	61	
	実績額計	0	0	0	0	61	
	予算額計	100	61	61	61	61	
執行率		0%	0%	0%	0%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	市民の調査請求権による政治審査会開催回数		政治倫理基準、遵守事項違反による政治倫理審査会が開催件数を指標とした。			回	0
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
条例に基づき、適正な制度の運用に当たります。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	238 市民総合災害補償事業			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	石岡市市民総合災害補償規則				項	01 総務管理費	
					目	12 諸費	
				主な内訳	旅費 役務費		
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市、一般市民、一部事務組合		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	万が一事故が発生した場合、賠償金又は補償金を支払います。		
事業の概要				偶然的事故による賠償責任によって市が被る損害や、市の行事等での事故について、補償金（見舞金）を支払います。公金の輸送や保管における偶然的事故に対する損害を補てんします。			
事業全体としての課題				万が一事故が発生した場合の迅速な対応			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	損害賠償請求訴訟件数		万が一事故が起きた場合でも、適正な対応をし、訴訟まで至らず解決されることが望まれます。		件	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,483	1,471	1,464	1,512	1,505	
	実績額計	1,483	1,471	1,464	1,512	1,505	
	予算額計	1,498	1,485	1,479	1,524	1,505	
執行率		99%	99.06%	98.99%	99.21%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
市民等の万が一の事故等に対応するため、引き続き事業を継続していきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				総務部		総務課		
事業名		345 町界町名整理事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		住居表示に関する法律 地方自治法			款	02 総務費		
					項	01 総務管理費		
					目	11 町界町名推進費		
				主な内訳		需用費 委託料		
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	土地・建物所有者			
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	建物等の場所を特定しやすくします。			
事業の概要				住居表示及び町界町名の実施により建物（住所）等を特定しやすくします。具体的には、住所の設定、証明書の発行及び照会対応等を行います。				
事業全体としての課題				事業実施前は、郵便物や来訪者、緊急車両等の到着が困難な場合もありましたが、事業実施によりそうした問題が解消されてきました。実施に当たっては、地元住民の理解と協力を得ながら進めていく必要があります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
		実績値						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	1	0	2		
	一般財源	14	0	29	21	34		
	実績額計	14	0	30	21	36		
	予算額計	36	36	36	36	36		
執行率		38.89%	0%	83.33%	58.33%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	新築建物に係る住居表示用プレートの交付件数		新築建物等の住居番号の設定及びプレートの交付			件	103	
	住居表示変更証明書の交付件数		住居表示変更証明書の請求により交付			件	125	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
引き続き、住居表示適正な管理及び運用に当たっていきます。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				総務部		総務課		
事業名	439 啓発事業費			予算	会計	01 一般会計		
					款	02 総務費		
					項	04 選挙費		
					目	02 選挙啓発費		
根拠法令	公職選挙法			主な内訳	需用費			
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	選挙の有権者及び将来の有権者			
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	選挙の投票に来てもらえるように促します。			
事業の概要				有権者の選挙への意識を高めるため、選挙啓発時の臨時啓発に加え、普段から継続して行う常時啓発を実施します。特に投票率の低い若者層への積極的な啓発活動を実施します。				
事業全体としての課題				他市同様に、本市においても投票率が低い状況であるため、政治関心が低い若年層を中心とした選挙啓発が必要です。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
		実績値						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	8	20	20		
	実績額計	0	0	8	20	20		
	予算額計	20	20	20	20	20		
執行率		0%	0%	40%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	「5年未来」選挙メッセージ葉書募集		中学3年生を対象に、成人した自分に向けてのメッセージを募集します。			人	113	
	啓発パンフレット成人式時配布		成人式に選挙啓発パンフレットを新有権者に配布する。			回	1	
	選挙啓発ポスター募集		選挙ポスターを募集し、選挙に対して関心を持ってもらう。			人	75	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
選挙時における臨時啓発活動のほか、常時啓発活動に取り組んでいきます。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	544 人事管理経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	地方公務員法				項	01 総務管理費	
					目	01 一般管理費	
				主な内訳	需用費 委託料 負担金補助及び交付金		
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市職員、臨時・嘱託職員などの非常勤特別職員		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	職員各位が自らの能力を十分に発揮し、モチベーションの高い組織運営を目指します。		
事業の概要				定員適正化計画に基づく職員数の管理を行い、人事評価制度等により昇任昇格や適材適所の人事を行います。 長期的な計画に沿った職員採用を行い、人件費の抑制を図ります。			
事業全体としての課題				市民サービスの質を維持、向上させることが可能な必要最低限の職員数を見極めながら、職員の配置及び年齢構成の偏りに配慮した職員採用を行い、定員の適正化に努める必要があります。 人事評価制度の確立とともに、評価を昇給昇格や給与へ反映させる制度の構築が必要となっています。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	職員数（効率的・効果的な行政運営の推進）		市民サービスの質を維持、向上させることが可能な必要最低限の職員数を見極めながら、定員の適正化に努めます。		人	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	674	0			
	実績値	652					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	400	440	402	441	709	
	一般財源	0	0	0	0	0	
	実績額計	400	440	402	441	709	
	予算額計	711	716	735	738	709	
執行率		56.26%	61.45%	54.69%	59.76%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	新任職員の採用		適正化計画に基づき計画的な人件費削減を行うため最少人数の職員を採用します。			人	28
	安全運転管理者等講習会		安全運転管理者及び副安全運転管理者の講習会			人	8
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
平成24年度から本格運用を行っている人事評価制度について、さらなる効果をあげるために、今後、賞与以外の職員への処遇への反映や、制度を通じた人材の育成を推進していく必要があります。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	735 自衛官募集事務費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
					項	01 総務管理費	
					目	12 諸費	
根拠法令		自衛隊法, 地方自治法		主な内訳		旅費 需用費 役務費 負担金補助及び交付金	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	募集対象者となる市民		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	自衛官募集に関する広報活動等を通し、入隊者の確保を図ります。		
事業の概要		自衛官募集に関する広報活動等を通し、入隊者の確保を図ります。 自衛官募集相談員による自衛隊の紹介・説明、自衛官募集のチラシ作成・ポスター掲示、自衛隊父兄会・自衛官募集相談員との連携					
事業全体としての課題		一般企業の有効求人倍率が低い状況にあるため、自衛官への志願者の増加が予想されますが、少子化の進行による募集対象人口の減少に加え、高校生の進学率の上昇などにより、自衛官の応募状況は引き続き厳しい状況となっています。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	受験者		自衛官志願者の受験者数		人	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	90	90			
		実績値	78				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	40	40	21	23	23	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	129	126	132	136	137	
	実績額計	169	166	153	159	160	
	予算額計	177	174	167	167	160	
執行率		95.48%	95.4%	91.62%	95.21%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	市広報紙への掲載回数		市広報紙への自衛官募集記事掲載回数			回	5
	市広報紙への折込回数		自衛官募集案内（種目別）の折り込み回数			回	2
	イベント等での広報活動		より多くの人（適齢者）に自衛隊について知ってもらう。			回	2
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
受験者数の増加に努め、関係組織との連携を強化し、自衛官の魅力を伝えられるような啓発活動を継続して行います。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	6200 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会委員選挙費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
					項	04 選挙費	
					目	03 諸選挙費	
根拠法令		漁業法		主な内訳		報酬 職員手当等 需用費	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	当該選挙の有権者		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	公職選挙法に基づき、適正な選挙の管理執行を図ります。		
事業の概要				霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会委員任期 4年 任期満了となる委員6人を選出するもの。 有権者数 2,317人（平成24年7月10日現在） 選挙期日 平成24年7月19日			
事業全体としての課題				茨城県選挙管理委員会が管理する選挙であり、茨城県との連携を図り、遺漏のないよう諸事務及び投開票を適正に執行すること。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	選挙結果による異議申出件数		公職選挙法に基づき、適正に選挙を管理執行し、結果として、異議申出がないことを指標として設定等した。		回	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0				
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	106	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
	実績額計	0	0	0	106	0	
	予算額計	0	0	0	107	0	
執行率		%	%	%	99.07%	%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	6250 石岡台地土地改良区総代選挙費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
					項	04 選挙費	
					目	03 諸選挙費	
根拠法令		土地改良法施行令 公職選挙法		主な内訳		職員手当等 需用費 役務費 委託料	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	当該選挙の有権者		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	公職選挙法に基づき、適正な選挙の管理執行を図ります。		
事業の概要				石岡台地土地改良区を構成する7市町がそれぞれの選挙区となり、総代100人を選出するものです。石岡市選挙管理委員会が管理執行し、他の6市町選管に対し、選挙執行委託 第1選挙区（石岡市） 有権者数3,528人 定数30人			
事業全体としての課題				複数の市町の選挙管理委員会を通じて石岡市が管理する選挙であり、石岡台地土地改良区との十分な調整とともに、関係市町の選挙管理委員会との協力が不可欠です。予算等の編成も あり、選挙執行年度の前年度からの連絡調整等を予定する必要があります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	選挙結果による異議申出件数		選挙結果について、異議申出がないことを指標として設置等した。		回	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0				
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	818	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
	実績額計	0	0	0	818	0	
	予算額計	0	0	0	819	0	
執行率		%	%	%	99.88%	%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	6358 農業委員会委員選挙費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
					項	04 選挙費	
					目	03 諸選挙費	
根拠法令	公職選挙法 農業委員会等に関する法律			主な内訳	報酬 職員手当等 需用費 役務費		
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	当該選挙の有権者		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	公職選挙法に基づき、適正な選挙の管理執行を図ります。		
事業の概要				任期3年ごとに任期満了に伴う選挙の執行 有権者数 10,725人（平成24年7月1日現在）定数 20人 投票所 市内14箇所 期日前投票 告示日の翌日から投票日の前日まで6日間 本庁及び支所の2箇所 開票 即日開票 八郷総合支所			
事業全体としての課題				農業委員会等に関する法律及び公職選挙法に基づき、適正な選挙の管理執行を図ります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	選挙結果による異議申出件数		公職選挙法に基づき、適正に選挙を管理執行し、結果として、異議申出がないことを指標として設定等した。		件	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,098	0	0	1,603	0	
	実績額計	4,098	0	0	1,603	0	
	予算額計	4,124	0	0	1,604	0	
執行率		99.37%	%	%	99.94%	%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		総務課	
事業名	7001 衆議院議員選挙費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
					項	04 選挙費	
					目	03 諸選挙費	
根拠法令	公職選挙法 地方財政法			主な内訳	職員手当等 需用費 委託料 原材料費		
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	当該選挙の有権者		
	施策	09 その他		意図（どのように）	公職選挙法に基づき、適正な選挙の管理執行を図ります。		
事業の概要				衆議院議員任期 4年 定数（小選挙区300人＋比例区180人＝480人） 投票 市内52投票区投票所 投票時間 午前7時から午後6時まで 期日前投票所 本庁、支所、観光案内所の3箇所 公示日の翌日から投票日の前日まで11日間 午前8時30分から午後8時まで 開票即日開票 開始時刻 午後8時 開票場所 八郷総合支所			
事業全体としての課題				公職選挙法に基づき、適正な選挙の管理執行を図る。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	選挙結果による異議申出件数		公職選挙法に基づき、適正に選挙を管理執行し、結果として、異議申出がないことを指標として設定等した。		件	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0				
実績値	0						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	36,865	0	0	35,169	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	8	0	0	32	0	
	実績額計	36,873	0	0	35,201	0	
	予算額計	36,874	0	0	35,201	0	
執行率		100%	%	%	100%	%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	選挙啓発広報回数		投票率の向上のため、広報紙への記事掲載や啓発チラシを折り込みます。			回	1
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
若年層を中心とした投票率の向上を図るため、選挙時啓発活動等を行っていきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		防災対策課	
事業名	444 国民保護対策経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	09 消防費	
根拠法令	武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律				項	01 消防費	
					目	05 災害対策費	
				主な内訳			
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）		顧客（誰を）	一般市民		
	施策	O2 防災機能の整備・強化		意図（どのように）	国民保護に関する理解を図り、また、非常時に、迅速に情報伝達ができるようにします。		
事業の概要				石岡市国民保護計画の運用（計画内容の更新）			
事業全体としての課題				北朝鮮の動向やアメリカでのテロ等、国外からの武力攻撃の可能性を実感する機会が増えていますが、国民保護に関する理解が不足している状況です。消防や防災に関する広報と併せて、国民保護に関する広報活動が必要です。また、現在、本庁舎にJアラートが整備されていますが、市から市民への情報伝達方法を検討し、導入する必要があります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	国民保護対策の充実		非常事態での円滑な対応を図るため、防災関係機関担当者間の情報交換等を行います（国民保護協議会に併せた実務者による会議等）。		回	26
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	1	1			
	実績値	0					
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	2,048	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	8	0	476	591	
	実績額計	0	2,056	0	476	591	
	予算額計	120	3,140	100	594	591	
執行率		0%	65.48%	0%	80.13%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	石岡市国民保護協議会の開催		石岡市国民保護計画の見直し、国民保護対策について審議を行います。			回	0
	緊急速報「エリアメール」サービスへの加入		国民保護に係る情報を迅速に提供できる環境をつくるものです。			契約	0
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
市民に対して、国民保護に関する啓発活動を実施します。また、Jアラートからの情報を市民へ迅速に伝達する仕組みを整備してまいります。						27	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		○		担当部		課名		
						総務部		防災対策課		
事業名		6533 地震災害支援経費				予算	会計	01 一般会計		
根拠法令							款	03 民生費		
							項	01 社会福祉費		
							目	01 社会福祉総務費		
						主な内訳				
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）				顧客（誰を）	り災された市民			
	施策	O2 防災機能の整備・強化				意図（どのように）	建築士によるり災調査を実施します。			
事業の概要		り災された市民が、職員による一次調査の結果に不服がある場合や職員による、り災判定が困難な案件に対し、建築士に依頼して、二次調査を行うものです。								
事業全体としての課題		二次調査の日程調整や建築士の報告書作成に日数がかかるため、り災証明書発行までに数週間を要してしまうことが課題です。								
成果指標	項目	指標名			指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度	
	最終目標	建築士によるり災判定			前年度の調査依頼実績を考慮して、調査依頼件数の想定を算定しました。			棟	24	
		年度	平成24年度		平成25年度					
		目標値	10							
		実績値	1							
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度				
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0				
	県支出金	0	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0	0				
	一般財源	0	0	0	35	0				
	実績額計	0	0	0	35	0				
	予算額計	0	0	0	350	0				
執行率		%	%	%	10%	%				
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値		
	建築士によるり災判定		り災された市民が、職員による一次調査の結果に不服がある場合や職員によるり災判定が困難な建物に対し、建築士に依頼して、二次調査等を実施するものです。				棟	1		
今後の事業の方向性（改革改善案）							見直し年度（目標年度）			

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		防災対策課	
事業名	6958 防災無線整備事業			予算	会計	01 一般会計	
					款	09 消防費	
根拠法令	電波法, 有電電気通信法, 防災行政無線局の免許方針, 電気設備技術基準				項	01 消防費	
					目	05 災害対策費	
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ(消防・防災)		顧客(誰を)	一般市民及び帰宅困難者等		
	施策	O2 防災機能の整備・強化		意図(どのように)	災害情報等の迅速な取得により, 安全な避難及び円滑な災害対応を図ります。		
事業の概要				市民の生命, 身体及び財産を災害から保護するために, 必要な情報を瞬時に, 一斉に, 市民に伝達するため, 防災行政無線の整備を行います。			
事業全体としての課題				デジタル防災行政無線を整備するにあたり, 屋外拡声子局の設置場所に係る地元住民への説明や地権者との折衝が必要になります。また, 八郷地区のアナログ防災行政無線については, 老朽化が進んでいるため, 段階的に, デジタルへ移行する等の対応が必要です。また, 防災行政無線整備が完了するまでは, 代替的な情報伝達手段が必要となります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	防災行政無線の運用		防災行政無線の運用規程を作成し, 適正な運用を図ります。		式	27
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値					
実績値							
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	2,000	222,400	
	その他	0	0	0	0	121,061	
	一般財源	0	0	0	1,148	0	
	実績額計	0	0	0	3,148	343,461	
	予算額計	0	0	0	14,875	343,461	
執行率		%	%	%	21.16%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	防災行政無線の実施設計		石岡市に適した防災行政無線の実施設計を行います。			式	1
	防災行政無線の設置工事		完成した実施設計書に基づき, 防災行政無線の設置工事を行います。			式	0
防災行政無線の運用		防災行政無線の運用規程を作成し, 適正な運用を図ります。			式	0	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
防災行政無線については, 平成27年度からの運用開始を目指して, 平成25年度から2カ年で, 屋外拡声子局等の設置工事を進めてまいります。運用については, 八郷地区の防災行政無線運用規定や他市町村の事例を参考に, 検討を重ねてまいります。						27	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		防災対策課	
事業名	443 防災対策経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	09 消防費	
根拠法令	災害対策基本法				項	01 消防費	
					目	05 災害対策費	
				主な内訳			
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）		顧客（誰を）	一般市民		
	施策	O3 防災体制の充実		意図（どのように）	災害時等に、市内全域で自助・共助・公助が効率的に行われるような体制づくりを目指します。		
事業の概要				災害発生時における対策について平常時から理解を深め、緊急時に対応できる体制を整えます。また、国や県の防災計画見直しなどに伴い、市地域防災計画の見直しを行います。			
事業全体としての課題				東日本大震災の発生により、石岡市でも震度6弱を記録し、多大な被害をこうむりました。今後起こりうる東海地震等を想定し、多種多様な情報伝達手段を活用する必要があります。また、防災体制の充実のため、防災備品や備蓄品の整備が必要です。整備後は、備品の操作方法の研修や備蓄品の定期点検などを実施する必要があります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	防災情報の共有化		市内の危険箇所等に関する情報を収集し、GIS等の活用により情報の整理と視覚化を図ります。また、市民に対して、情報を公開し、防災情報の共有化を図ります。		式	26
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	1	1			
	実績値	0					
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	3,938	0	0	
	県支出金	560	0	100	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	9	5,273	0	
	一般財源	12,146	9,419	28,893	28,576	15,309	
	実績額計	12,706	9,419	32,940	33,849	15,309	
	予算額計	15,154	16,964	36,431	34,867	15,309	
執行率		83.85%	55.52%	90.42%	97.08%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	防災拠点の整備		防災倉庫について、各避難所に設置をし、備蓄品や防災用備品の整備を図ります。			式	1
	避難所標識の設置		各避難所に標識を設置し、市民へ避難所の場所の周知を図ります。			基	37
防災マップ等の作成		災害時の避難所や日ごろからの防災対策について周知を図ります。			式	1	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
避難所標識の設置や防災マニュアル等の作成のほか、防災倉庫や備蓄品の整備を進めていますが、今後は、整備した備品の活用や備蓄品の維持管理に努めたり、自主防災組織、区長会や自治会などと連携した取り組みを進めてまいります。						26	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		防災対策課	
事業名	354 防災訓練経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	09 消防費	
					項	01 消防費	
					目	05 災害対策費	
根拠法令		災害対策基本法		主な内訳			
体系	政策	04 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）		顧客（誰を）	一般市民		
	施策	04 地域防災力の向上		意図（どのように）	市民の防災意識の高揚及び行政と防災関係機関・地域住民との相互協力体制の構築を図ります。		
事業の概要				職員の初動訓練を実施し、初動体制の強化を図ります。また、防災関係機関及び住民との相互協力体制の構築を図るため、定期的に総合防災訓練を実施し、石岡市民一人ひとりの防災に対する理解と防災意識の高揚を図ります。			
事業全体としての課題				総合防災訓練を開催するための用地確保が困難です。避難所開設や避難所運営、防災備品の操作をはじめとした実践的な訓練を、多くの住民参加のもと開催することが重要です。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	訓練参加者数		市の総合防災訓練だけでなく、自主防災組織など、住民が中心となった地域性のある防災訓練を実施し、地域の防災力の向上を図ります。		人	26
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	400				
	実績値	60					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	144	183	116	197	1,213	
	実績額計	144	183	116	197	1,213	
	予算額計	1,361	983	1,314	1,314	1,213	
執行率		10.58%	18.62%	8.83%	14.99%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	職員の災害時初動訓練		訓練に参加した人数			人	597
	総合防災訓練参加者数		訓練に参加した人数			人	0
地域防災訓練		訓練に参加した人数			人	60	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
東日本大震災の教訓から、職員に対しては災害対応力の向上を目指し、初動訓練を実施するとともに、防災関係機関や地域住民、区長会、自治会、消防団などと連携した総合的な訓練を定期的実施し、市全体の防災力の向上を図ってまいります。						25	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		契約検査課	
事業名		140 契約検査執行経費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		地方自治法第234条			款	02 総務費	
					項	01 総務管理費	
					目	01 一般管理費	
		主な内訳					
体系	政策	07 時代の变化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	入札参加資格者・市職員		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	適正な価格で公共工事を実施する。契約内容の履行の確認を行う。		
事業の概要		条件付一般競争入札を奨励し、従来の指名競争入札からの転換を図り、併せて電子入札も視野に入れた制度運用を推進する。また、一般競争入札制度の確立を図ることにより、入札の公正性等が保たれる。また、総合評価落札方式入札の導入により、価格と品質の総合的に優れた調達への転換が図られる。					
事業全体としての課題		「競争の激化によるダンピング」や「不適格工事」または「談合等不正行為」の抑止に有効な総合評価落札方式の本格導入に向けた、審査体制や検査体制等の強化をしなければならない。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	支出予定額比較額		平成24年度（設計金額－落札金額） 3,640,630千円 - 3,355,660千円 =284,970千円		千円	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	284,970	284,970			
		実績値	284,970				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	646	805	1,254	1,039	1,329	
	実績額計	646	805	1,254	1,039	1,329	
	予算額計	1,537	1,258	1,254	1,254	1,329	
執行率		42.03%	63.99%	100%	82.85%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	技術会社による建設工事の完成検査補助件数		公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）の適正な履行の推進、及び公共工事における技術力の向上のため、建設工事の完成検査補助を委託する。			件	6
	入札執行及び業者選考依頼件数（業者選考委員会、年19回開催）		競争入札にする案件を審査するために、資料等を収集作成し、業者選考委員会にて審議する。				301
条件付き一般競争入札の執行件数		条件付き一般競争入札を公告し、石岡市のホームページにより公表を行い、参加業者による郵便による入札を執行する。				39	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
審査体制や検査体制等の強化を図るため、きめ細やかな検査項目の多い、新しい工事成績表への移行に向け、研修会等を実施してまいります。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		契約検査課	
事業名	643 入札参加資格電子申請運用経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	地方自治法施工令第167条の5第1項及び第167条の11第2項				項	01 総務管理費	
					目	01 一般管理費	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	入札参加業者		
	施策	08 行財政改革の推進		意図（どのように）	受付業務の負担の軽減と効率化を図る		
事業の概要				<p>県の入札参加資格電子申請システムの共同利用により、建設工事及び建設コンサルタント業務に係る入札参加資格の新規登録及び追加登録の共同受付・審査を実施する。（物品・役務の登録は従来通り市で受付）電子申請システムに移行することにより、市の大幅な受付業務の負担の軽減と効率化が図られ、また、入札参加登録業者の負担軽減が見込まれる。</p>			
事業全体としての課題				<p>インターネットによる申請であり、不慣れな操作をするため、入力に不便な点がある。インターネット環境未整備の業者への対応。各市町村に提出する申請書類の統一化。</p>			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	1日当たりの受付業者数		1,782件÷17日＝ 104件/日		件/日	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	104	104			
	実績値	104					
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	498	708	580	708	594	
	実績額計	498	708	580	708	594	
	予算額計	502	755	580	775	594	
執行率		99.2%	93.77%	100%	91.35%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	入札参加資格電子申請システム共同利用申請者数		茨城県や県内市町村が電子システムを共同で活用することにより、書類の審査の負担の軽減が図られ市において超過勤務の削減や収納スペースの減少化が図られる。				
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				総務部		情報政策課		
事業名	223 自動交付機運用経費			予算	会計	01 一般会計		
					款	02 総務費		
根拠法令	住民基本台帳法、石岡市自動交付機の管理等に関する要綱他				項	01 総務管理費		
					目	10 電算費		
				主な内訳	需用費、委託費、使用料及び賃借料			
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	市民			
	施策	02 庁舎の整備・行政サービスの充実		意図（どのように）	証明書発行待ち時間の短縮、土日祝日での証明書交付による利便性向上			
事業の概要				いしおか市民カードや住民基本台帳カードにより、設置施設5箇所の自動交付機にて住民票の写し及び印鑑登録証明、税証明（6種類）の発行を行っています。				
事業全体としての課題				自動交付機の機器更新及び保守を適切に行い、安定的稼働を維持することが課題となっています。				
成果指標	項目	指標名			指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	正常稼働率			窓口サービスの低下を招かないようにシステムの安定且つ円滑な稼働を維持します。 【算式】1 - (障害発生日数/稼働日数) %		%	平成26年度
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	100		100			
		実績値	100					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	2,000	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	13,537	14,296	14,296	14,297	14,428		
	実績額計	15,537	14,296	14,296	14,297	14,428		
	予算額計	16,196	14,480	14,430	14,430	14,428		
執行率		95.93 %	98.73 %	99.07 %	99.08 %	100 %		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	自動交付機管理保守委託		本庁他4施設に設置されている自動交付機5台の維持管理を行います。				施設	5
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
利用者の利便性向上を可能とするシステムの維持管理及び安定的に稼働するシステム構築検討を行っていきます。						平成26年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		情報政策課	
事業名		422 市庁舎維持管理経費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令					款	02 総務費	
					項	01 総務管理費	
					目	05 財産管理費	
				主な内訳		需用費、役務費、工事請負費	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	庁舎及び各施設		
	施策	02 庁舎の整備・行政サービスの充実		意図（どのように）	情報の共有化・効率化を進める上で通信回線は不可欠です。		
事業の概要		基幹システム及び自動交付機、財務会計並びにグループウェア等のネットワーク通信回線の整備、運用。					
事業全体としての課題		より安価で高速かつ信頼性のある安全な情報通信回線の対応。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	信頼性のあるネットワーク環境の提供		高速かつ信頼性のあるネットワーク環境構築・維持管理を行います。		施設	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	29	29			
		実績値	29				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	22,000	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	5,278	4,769	4,943	
	実績額計	0	0	5,278	26,769	4,943	
	予算額計	0	0	5,854	27,899	4,943	
執行率		%	%	90.16 %	95.95 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	庁内ネットワーク維持管理		基幹系、内部情報系ネットワーク維持管理			日	365
	非常用発電機導入		市民サービス並びに業務継続を目的とした仮設庁舎非常用発電機導入			棟	3
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
市民サービスに直結する庁内事務継続を可能とする目的から、信頼性のある安全な庁内ネットワークの維持を行います。						平成25年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		情報政策課	
事業名	9 電算業務経費	予算	会計	01 一般会計			
			款	02 総務費			
項	01 総務管理費						
目	10 電算費						
根拠法令	石岡市情報管理組織に関する規則, 石岡市情報セキュリティの関する規程, 石岡市個人情報		主な内訳				
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	基幹系システム利用部署及び全職員		
	施策	03 地域情報化の推進		意図（どのように）	基幹系, 内部情報システム利用環境の提供及び維持管理		
事業の概要		住民記録及び税/収納, 国民健康保険等の住民情報システム並びにグループウェア, 財務会計等の内部情報システムの円滑かつ適正な運用を行います。					
事業全体としての課題		社会を取り巻く環境の変化に対応するため, 行政情報システムの構築・運用や事務の効率化を通して, さらなる行政コストの削減を図るとともに, 住民サービスを向上させるための電子自治体の構築が必要です。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	基幹業務のWebシステム化数		コスト削減, 事務処理の効率化・高度化		人/人	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	16	18			
	実績値	16					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	3,865	
	県支出金	60,000	28,200	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	26,178	29,991	28,421	27,097	27,135	
	一般財源	164,519	176,005	215,365	179,284	177,862	
	実績額計	250,697	234,196	243,786	206,381	208,862	
	予算額計	253,761	243,628	245,169	208,835	208,862	
執行率		98.79 %	96.13 %	99.44 %	98.82 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	基幹系システム関連業務		C/Sシステム運用管理保守, バッチシステム処理関連, 機器借上等			業務	44
	内部情報系関連業務		グループウェア, 財務会計, 人事・給与, 共通基盤, 催事, 機器借上等			業務	6
共同システム等運営負担金		地方自治情報センター負担金, 茨城県高度情報化推進協議会負担金, いばらきブロードバンド運営負担金, 市町村共同システム運営負担金			負担金	4	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
基幹系システムの安定運用を行うことにより, 継続した住民サービスを可能とすると共に, クラウドコンピューティング等新たな技術動向を踏まえながら, より信頼性のある安全で効率的なシステム構築を行なっていきます。						平成27年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		情報政策課	
事業名	10 システム導入・推進経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	石岡市情報管理組織に関する規則, 石岡市情報セキュリティの関する規程, 石岡市個人情報				項	01 総務管理費	
					目	10 電算費	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ(行政運営・経営)		顧客(誰を)	市民等		
	施策	03 地域情報化の推進		意図(どのように)	住民サービスの提供, 市の情報発信, 市施設の活用推進, セキュリティ対策		
事業の概要				ウィルスや個人情報の漏洩等を未然に防ぎ,信頼性のある安全な業務遂行を可能とする環境を構築する目的から, シンクライアント方式職員用端末管理を行います。ICTを活用した, 石岡市の歴史や文化, 観光資源等市の魅力と各種定住化施策等, 市の住みやすさを積極的に市内外を問わず情報発信するための環境整備を行うと共に, ホームページ, メールマガジンによる市民等に役立つ情報の発信や, インターネットや携帯電話からの施設予約サービスを提供するなど, 電子自治体の構築を図ります。			
事業全体としての課題				高速ブロードバンド等, ネットワーク環境の進展に伴う様々な電子行政サービスを推進する一方で, ウィルス感染や情報漏洩等の危険度は益々高まってきており, 近年は, 特定の施設を狙った標的型攻撃が主流になりつつあり, 未然に防御することが困難な状況です。これらに対応するための高度なセキュリティ対策が求められています。また, 石岡市における高齢化並びに深刻化している市内人口の社会減への対策として, 石岡市の魅力や, 住みやすさについて, 各課が所管する情報を, あらゆるターゲットに対し, 効率的に情報発信していくための仕組み作りが必要です。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	施設間ネットワーク安定稼働日		施設間ネットワークの安定稼働日		日	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	365	365			
	実績値	365					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	3,118	5,827	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	43,843	44,230	67,156	66,116	81,117	
	実績額計	43,843	47,348	72,983	66,116	81,117	
	予算額計	44,596	48,407	78,486	66,887	81,117	
執行率		98.31%	97.81%	92.99%	98.85%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	施設予約システム管理		施設予約管理(スポーツ施設・公民館)システム機器維持管理運用施設数			施設	3
	配備用PC維持管理・更新業務		職員用PC維持管理・更新(予備機含む)			台	150
LGWAN機器維持管理		LGWAN機器借上			式	1	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
歴史や文化, 豊かな自然といった石岡市が保有する観光資産, 市が行っている様々な助成制度等, 石岡市の魅力ある行政情報を積極的に情報発信してまいります。情報資産等を保護し, 信頼性のある安全な業務環境を構築し, 継続して質の高い住民サービスを提供して行くため, 継続してセキュリティ対策を実施していきます。						平成25年度(HP等)	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				総務部		情報政策課	
事業名	11 住民基本台帳ネットワーク整備事業経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	02 総務費	
根拠法令	住民基本台帳法, 石岡市住民基本台帳ネットワークシステムセキュリティ組織規程他				項	01 総務管理費	
					目	10 電算費	
体系	政策	07 時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）		顧客（誰を）	全市民		
	施策	03 地域情報化の推進		意図（どのように）	住基ネットを利用した各種サービス提供		
事業の概要				全国の市町村の住民基本台帳をネットワークで結び、氏名、住所などの情報を国や都道府県を含めた行政機関で共有し、電子政府電子自治体を支えていきます。電子証明書を取得すると電子申請・届出等ができます。			
事業全体としての課題				現在国が進めている番号制度の動向を踏まえ、今後の住基カード等が安定的に利用できるシステムの検討が必要です。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	正常稼働率		窓口サービスの低下を招かぬようシステムの安定かつ円滑な稼働を維持する。 【算式】1 - (障害発生日数 / 稼働日数) %		%	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100	100			
		実績値	100				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,355	5,385	5,355	5,237	3,075	
	実績額計	5,355	5,385	5,355	5,237	3,075	
	予算額計	5,465	5,409	5,409	5,367	3,075	
執行率		97.99 %	99.56 %	99 %	97.58 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	住民基本台帳ネットワーク整備		住民基本台帳ネットワークの安定稼働を行うための住基サーバー及び住基ネット用システムの保守管理委託			人年	1
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
信頼性が高く、安全な住民基本台帳ネットワークを利用した各種行政サービスが提供できるよう適切なシステムの維持管理をしていきます。						平成26年度	

